



春の叙勲

危険業務従事者叙勲

春の褒章

瑞宝双光章

(地方自治功労)

橋口 忠美さん
(長崎市・70)



昭和47年4月に長崎県に奉職。島原振興局長、県央振興局長など要職を歴任されました。
また、平成26年4月から令和4年3月までの8年間、松浦市副市長として市長を補佐し、豊富な行政経験と優れた識見のもと、魚市場再整備、市民福祉総合プラザの建設、地域医療を担う公的医療機関の誘致など市政の発展に尽力されました。

瑞宝単光章

(消防功労)

村田 末廣さん
(鷹島・黒島 83)



昭和47年10月に地域住民の要望に応えて鷹島村消防団に入団し、50年6月の永きにわたり消防団員、消防団幹部として活躍されました。
常に率先垂範して消防の任に当たり、地域住民に安心感を与え、他の団員の模範となりました。
また、積極的な啓発活動を行い、昭和51年から続く黒島地区の無火災に貢献されました。

瑞宝単光章

(消防功労)

松永 知雄さん
(志佐・上野 72)



昭和47年11月に松浦地区消防組合消防士として奉職。消防司令を務められるなど39年4月にわたり、消防業務・救急業務に精励されました。
強い責任感と広い見識に基づく指導力は周りからの評価が高く、平成12年に発生した山林火災では、隊長として冷静かつ適切に指示し、被害を最小限に抑えるなど地域防災に尽力されました。

藍綬褒章

(社会福祉功績)

古館 智治さん
(調川・江口2 85)



平成7年6月から27年5月の永きにわたり民生委員・児童委員として地域福祉活動に携わり、市の民生委員児童委員協議会においては会長を務め、市内全域の民生委員・児童委員の中心的存在として活動されました。
また、松浦市社会福祉協議会の役員を8年間務めるなど、幅広い分野で委員を歴任。地域福祉の向上に貢献されました。

藍綬褒章

(社会福祉功績)

前田 恵子さん
(今福・坂野 69)



平成7年12月から27年の永きにわたり民生委員・児童委員として地域福祉活動に携わり、地域住民と行政・福祉サービスをつなぐボランティアとして、住民の相談に応じ、必要な助言や支援を行われました。
誠実で献身的な人柄は、地域住民からの信頼も厚く、日頃の見守りなどの活動を通じ、地域福祉の向上に貢献されました。

4/13
～14

鷹島本まぐろとアジフライで祝福

鷹島肥前大橋開通記念イベント

同イベントが道の駅「鷹ら島」で開催されました。両日とも天候に恵まれ、市内外から約 2,000 人が来場。イベントでは鷹島本まぐろ解体ショーの実演があり、そのほかにもまぐろ寿司と鷹島特製手作りアジフライが来場者に無料で振る舞われました。



4/26

松浦アジフライ大使更新 更なる活躍へ期待！

毎日放送 福島暢啓アナウンサー



大阪のMBS ラジオの番組「福島のぶひろの いんじゃない？」にて、松浦アジフライ大使として各メディアで活躍されている福島アナウンサーに大使の更新をお願いしました。

昨年大使就任以降、プライベートで松浦市を訪問され「アジ釣り・食べ比べ体験」をされるなど、1年を通して積極的なPRを行っていただいております。大阪都市圏を含む地域にて、松浦市の認知度向上に向けた更なる活躍が期待されます。

4/21

新たな消防団員が入団

松浦市消防団辞令交付式



今年度の辞令交付式が消防本部で行われ、21 人の新入団員が辞令を受けました。

新入団員を代表し、第 11 分団の河野佑一さんが宣誓を行い、谷口哲男消防団長が「一日も早く市民から信頼される消防人として活躍されることを期待します」と訓辞を述べました。

今年度の消防団員数は、780 人となり、火災や災害などから市民の生命や財産を守るため、日々訓練を重ねていきます。

4/28

棚田に映える大輪の花

棚田で花火



「日本の棚田百選」に選ばれている福島町の土谷棚田で、花火が上がりました。

この花火は、棚田で花火実行委員会（代表：永田正徳さん）により、田植えを終えた関係者への労いと豊作祈願、来訪者への魅力発信を目的として行われました。

辺りが薄暗くなった午後 7 時半ごろから 75 発が約 6 分間にわたって打ち上がり、色とりどりの光が夜空と水の張られた水田を彩りながら、最後は大輪の花を咲かせました。